

令和元年7月

## 市長定例記者会見次第

1. 日 時：令和元年7月12日（金） 14：00～ （約1時間）
2. 場 所：405会議室
3. 出席者：市長、関係局長ほか
4. 案 件
  - （1）谷口吉郎・吉生記念金沢建築館の開館について（資料番号1）
  - （2）みらいクリエイター養成塾の開講について（資料番号2）
  - （3）和食のジュニアエリート養成事業の開催について（資料番号3）
  - （4）非常時行動防災シートについて（資料番号4）
  - （5）子どもの貧困に関する市民説明会～子どもの育ちと生活を支えるために～の開催について（資料番号5）
  - （6）簡易宿所等のあり方検討庁内プロジェクトの結成について（資料番号6）

## 市長定例記者会見資料

## 谷口吉郎・吉生記念金沢建築館の開館について

## 1 名誉館長委嘱状交付式

- ・日時：令和元年7月26日（金）午前9時～9時15分
- ・場所：金沢市文化ホール（高岡町15番1号）
- ・名誉館長：谷口吉生（たにぐち よしお）氏

## 2 開館記念式典

- ・日時：令和元年7月26日（金）午前10時～10時40分
- ・場所：金沢市文化ホール大集会室（高岡町15番1号）
- ・内容：①式辞  
②来賓祝辞  
③館長謝辞  
④設計者スピーチ 等  
⑤内覧 時間：午前11時～12時30分  
場所：金沢建築館（寺町5丁目1番18号）

## 3 一般公開

- ・日時：令和元年7月26日（金）午後2時～

## 4 開館記念特別展

- ・日時：令和元年7月26日（金）午後2時～令和2年1月19日（日）
- ・場所：金沢建築館（寺町5丁目1番18号）
- ・概要：「清らかな意匠」一金沢が育んだ建築家・谷口吉郎の世界と題し、金沢との関わりをベースに、谷口吉郎の生い立ち、主要作品と建築思想を、文筆家としても知られている吉郎氏の文章を手掛かりに紹介。

## 5 ホームページの公開

<https://www.kanazawa-museum.jp/architecture/>

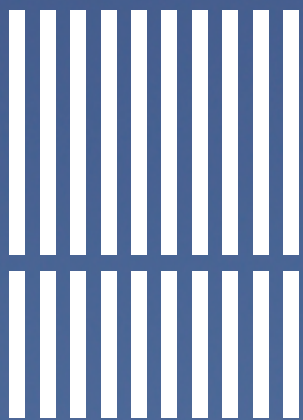
## 6 ミュージアムショップ、カフェについて

ミュージアムショップでは、谷口吉郎作品集（復刻版）をはじめとする谷口親子や建築に関する書籍、谷口建築のポストカード等を販売するとともに、建築館にふさわしい品々を来館者に提供するため、谷口吉生氏が設計したニューヨーク近代美術館のMoMA Design Storeのアイテムを取り扱い、開館当初の取扱いアイテム数は約100点を予定している。

また、カフェ事業者として株式会社メープルハウスが出店予定。

## 〔参考〕[名誉館長経歴等]

- (1) 氏名：谷口 吉生（たにぐち よしお）
- (2) 略歴：1937年 東京生まれ  
1960年 慶応義塾大学工学部機械工学科卒業  
1964年 米国ハーヴァード大学大学院建築科卒業  
1965年 東京大学都市工学科丹下研究室に在籍  
1979年 谷口建築設計研究所所長に就任
- (3) 主要作品：資生堂アートハウス、東京都葛西臨海水族園、ニューヨーク近代美術館、京都国立博物館平成知新館 等



谷口吉郎・吉生記念  
金沢建築館

Yoshiro and Yoshio Taniguchi  
Museum of Architecture, Kanazawa

2019年  
7月26日[金]開館

OPEN



開館記念特別展

# 清らかな意匠

金沢が育んだ建築家・谷口吉郎の世界



谷口吉郎・吉生記念  
金沢建築館

Yoshiro and Yoshio Taniguchi  
Museum of Architecture, Kanazawa

2019年 2020年  
7月26日[金] - 1月19日[日]

開館時間：9:30-17:00 (入館は16:30まで)  
観覧料金：一般300円[250円]、65歳以上200円[200円]、  
高校生以下無料

\*□は20名以上の団体料金  
\*開館記念特別展は、上記の料金のみで観覧頂けます

休館日：月曜日 \*月曜日が祝日の場合はその直後の平日  
年末年始 \*12月29日-5月3日

主催：谷口吉郎・吉生記念金沢建築館  
(公益財団法人金沢文化振興財団)  
協力：谷口建築設計研究所 谷口吉生  
監修：藤岡洋保(東京工業大学名誉教授)  
展示デザイン：桑原弘茂(スタジオRHK)  
企画構成・ディレクション：金子悦輝(デルファイ研究所)

Special Exhibition  
Commemorating the Opening of the Museum  
“The Pursuit of Pure Design”

—The World of Yoshiro Taniguchi,  
an Architect Nurtured by Kanazawa

July 26, 2019 - January 19, 2020

Hours: 9:30 a.m. - 5:00 p.m.  
\*No admittance after 4:30 p.m.  
Admission fees: Adults 300yen [250yen] /  
Senior (65 and over) 200yen [200yen] /  
Child/Student (high school and younger) Free  
\*□ Group rates for 20 and more  
Closed: Mondays / New year's Holidays  
\* When Monday is a national holiday, the following  
weekday will be closed instead.  
\* December 29th - January 3rd

Organizers: Yoshiro and Yoshio Taniguchi Museum of  
Architecture, Kanazawa  
(Kanazawa Cultural Promotion Foundation)  
Supported by: Taniguchi and Associates Yoshio Taniguchi  
Supervision: Hiroyasu Fujioka (Professor Emeritus, Tokyo Tech)  
Exhibition Design: Hiroshige Kuwahara (studio RHK)  
Planning structure・Direction: Yoshiteru Kaneko (delphi lab, Inc)

開館記念特別展

# 「清らかな意匠」

—金沢が育んだ建築家・谷口吉郎の世界

このたび開館する「谷口吉郎・吉生記念金沢建築館」では、建築や都市をテーマとする展示を行い、市民や金沢を訪れる人の建築文化やまちづくりに対する関心に応えます。

その開館を記念する特別展として、金沢が生んだ近代日本を代表する建築家であり、金沢市名誉市民第一号となった谷口吉郎氏の作品を紹介し、氏は九谷焼の窯元の家生まれ、第四高等学校卒業まで金沢で過ごしました。「清らかな意匠」と形容される端正な建築や「博物館明治村」の創設などの文化貢献で、昭和48(1973)年に文化勲章を受賞しています。また氏は文筆家としても知られ、生まれ育った町金沢についてさまざまな著作のなかで語っています。開館を記念する特別展では、このような谷口吉郎氏の主要な建築作品と著作との関わりを取り上げ展示します。

Special Exhibition Commemorating the Opening of the Museum

# “The Pursuit of Pure Design”

—The World of Yoshiro Taniguchi, an Architect Nurtured by Kanazawa

At the Yoshiro and Yoshio Taniguchi Museum of Architecture, Kanazawa, which is about to open, exhibitions on architecture and the city will be organized for local citizens and visitors to Kanazawa interested in architectural culture and community development.

The special exhibition commemorating the opening will introduce the works of Yoshiro Taniguchi, a renowned modern Japanese architect who was a product of Kanazawa and designated the first honorary citizen of the City. Taniguchi was born to a family whose kiln produced Kutani ware and lived in Kanazawa until his graduation from the Fourth Higher School. He was awarded the Order of Cultural Merit in 1973 for his cultural contributions such as the handsome buildings he designed that exemplify what has been described as “the pursuit of pure design” and the establishment of the Museum Meiji-mura. He was also known as a man of letters and wrote about Kanazawa, the city in which he was born and raised, in various essays and books. The special exhibition commemorating the opening of this museum will have as its theme the relationship between Yoshiro Taniguchi’s main architectural works and his writings.



〔藤村記念堂〕(1947年)  
撮影:平山忠治



〔慶應義塾大学第二研究室(方未舎)〕(1947年)  
撮影:平山忠治



〔石川県博物館(現石川県立博物館)〕  
(1952年) 撮影:平山忠治



〔石川県美術館(現石川県立美術館)〕  
(1955年) 撮影:平山忠治



〔石川県県庁ロビー(客席)〕(1966年)  
撮影:新建築社写真部



〔東京国立博物館東洋館〕(1969年)  
撮影:新建築社写真部



アクセス:

最寄バス停

・城下まち周遊バス、北陸鉄道「広小路」  
・金沢ふらっとバス長町ルート「24 野町広小路」  
一般駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ:

谷口吉郎・吉生記念金沢建築館  
〒921-8033 石川県金沢市寺町5-1-18  
Tel: 076-247-3031 Fax: 076-247-3032  
E-Mail: kenchikukan@kanazawa-museum.jp  
URL: <https://www.kanazawa-museum.jp/architecture/>

Access:

Nearest bus stops  
-“Hirokoji” Kanazawa Loop Bus (Hokuriku Railroad)  
-“23 Nishi Chaya District,” “24 Nomachi Hirokoji”  
Furatto!Plati bus “Nagamachi” route (community bus)  
Parking space only for disabled visitors.  
Other visitors please use public transportation.

Contact: Yoshiro and Yoshio Taniguchi Museum of Architecture, Kanazawa  
5-1-18 Tera-machi, Kanazawa-shi, Ishikawa 921-8033 JAPAN  
Tel: +81-76-247-3031 Fax: +81-76-247-3032  
E-Mail: kenchikukan@kanazawa-museum.jp  
URL: <https://www.kanazawa-museum.jp/architecture/>



## みらいクリエイター養成塾の開講について

最先端のテクノロジーと金沢が誇る伝統・学術・文化を学んで掛け合わせて、新たなものを創り出す養成塾を開講し、あわせてITビジネスプラザ武蔵でのオンライン自主学习を促し、子供達の自発的な能力向上を図る年間プログラムを実施します。

1. 日時 令和元年7月20日(土) 16:00～18:00
2. 場所 ITビジネスプラザ武蔵
3. 内容 ①開講式：市長あいさつ  
松田金沢市プログラミング教育ディレクター激励  
講師紹介(9人)  
市長から全員に受講証を交付  
誓いのことば：小学生代表と中・高・高専生代表の2人  
記念撮影  
②講義：みらいを創る！時代認識と4つのエピソード  
講師：松田 孝 金沢市プログラミング教育ディレクター  
③デジタルアートで複合現実を体験(19:30～)  
金沢21世紀美術館に移動し、  
金沢ナイトミュージアムオープニングイベントに参加
4. 参加者 受講者40人と保護者  
小学4年生～6年生 20人  
中・高・高専生1～3年生 20人

### 5. 応募に寄せたコメント(抜粋)

(養成塾への思い)

- ・調べたり試行錯誤を繰り返し、目的を達成できるプログラミングが好きである
- ・プログラミングが必須となる世代であり、そこに触れる機会を得たい
- ・テクノロジーが新たな価値を生むための様々な体験をこの塾で学びたい
- ・現実世界とデジタル世界を結ぶ媒体を作りたい

(将来の希望)

- ・遠隔操作で高齢者の生活を支援するシステムを作りたい
- ・生活に役立つものを作るプログラマーになりたい
- ・クリエイターになって、多くの人を楽しませるゲームを作りたい



キミとセカイの未来はここから始まる

養成塾

# みらいクリエイター

最先端のテクノロジーと金沢が誇る伝統・学術・文化  
学んで掛け合わせて、新たなものを創り出そう！

受講生募集中

応募締切

7.5 Fri.

## 募集対象

プログラミングやテクノロジー、ものづくりに興味がある  
金沢市内在住 又は 金沢市内の学校に通う  
小学4年生～高校3年生(高等専門学校生は1～3年生)

## 募集人数

小学生(4～6年生): 20名、中・高・高専生(1～3年生): 20名  
応募多数の場合は抽選となります

## 募集要件

- ①年間を通じて参加できる方(年間プログラムは裏面参照)
- ②会場に持参できるノートパソコンを所有している方

## 開催期間

2019年7月～2020年3月

## 会場

- ・ITビジネスプラザ武蔵(金沢市武蔵町14番31号)
- ・金沢工業大学(野々市市扇が丘7番1号)
- ・毎田染画工芸(金沢市本多町3丁目9番19号)

## 受講費用(実費相当分)

小学生 10,000円/年間  
中・高・高専生 18,000円/年間

※受講費用は開講式当日(7/20)に納入して下さい。  
※ご都合により、プログラムの一部に参加できない場合でも、  
受講費用は返却いたしませんので、ご了承下さい。

主催：金沢市

## 応募方法

応募専用フォームから以下の入力項目を入力の上、応募して下さい。  
(参加希望者)住所、氏名、生年月日、学校名、学年、パソコン操作経験、  
これまでプログラミングなどに取り組んできたこと  
(保護者)住所、氏名、電話番号、メールアドレス  
※入力いただいた個人情報は、イベント保険への加入等、当該事業にのみ利用します。

## 応募専用フォーム



## 問合せ先

〒920-8577  
金沢市広坂1丁目1番1号 金沢市経済局産業政策課  
E-Mail:sansei@city.kanazawa.lg.jp  
TEL:076-220-2204 FAX:076-260-7191



# 年間プログラム

7月

20日(土) 開講式(16:00~)

**みらいを創る！時代認識と4つのエピソード**  
講師:松田 孝 金沢市プログラミング教育ディレクター @ ITビジネスプラザ武蔵



**デジタルアートで複合現実を体験**

金沢ナイトミュージアムオープニングイベントに参加 @ 金沢21世紀美術館



27日(土) **デザインの持つ意味や表現方法を学ぶ**

石のカタチを車に見立てるワークショップ @ ITビジネスプラザ武蔵  
講師:金沢美術工芸大学(デザイン科) 寺井 剛敏、河崎 圭吾

8月

19日(月) **デジタルアートで複合現実を体験**

実践講義と体験会 @ ITビジネスプラザ武蔵  
講師:石川工業高等専門学校(電子情報工学科) 越野 亮



9月

7日(土) **ハックフォープレイでゲーム制作(小学生)**

JavaScriptによるゲーム開発 @ ITビジネスプラザ武蔵  
講師:ハックフォープレイ(株) 代表取締役 寺本 大輝



14日15日16日 **オリジナルのゲーム・アプリ開発(中・高・高専生)**

(土) (日) (月・祝)  
3日間の集中講座で作品制作 @ ITビジネスプラザ武蔵 [3日間を通して]  
講師:ライフ・イズ・テック(株)

10月

22日(火・祝) **最先端AI技術を体験**

AI技術が社会に与える影響を体験 @ 金沢工業大学  
講師:金沢工業大学(情報工学科) 中沢 実



11月

2日(土) **サッカーロボットを開発し全国大会を目指せ！**

ロボット製作・プログラム開発・RoboCup Junior金沢地区大会 @ 金沢工業大学  
講師:金沢工業大学(ロボティクス学科) 出村 公成



16日(土)  
(中・高・高専生)

**加賀友禅の技法と伝統的デザインを学ぶ**

30日(土)  
(小学生)

手仕事の魅力を知る手描き友禅体験 @ 毎田染画工芸  
講師:毎田染画工芸 毎田 仁嗣



12月

7日/8日 **デジタルものづくりでアイデアを形に**

(土) (日)  
3Dプリンタを活用したオリジナルペン立て等製作体験 @ ITビジネスプラザ武蔵  
講師:(株)クリパリンク 代表取締役 竹田 太志



2月

**デザイン思考で課題解決能力を習得**

製品・デザインの意図を明らかにし、現代の生活に合うよう再デザインするワークショップ @ ITビジネスプラザ武蔵  
講師:金沢美術工芸大学(デザイン科) 寺井 剛敏、河崎 圭吾

3月

**アイデアコンテスト開催 (成果報告会・修了式)**

<開講式から>

オンライン学習教材を用いた自主学習でレベルアップ

@ ITビジネスプラザ武蔵4階



## 市長定例記者会見資料

## 和食のジュニアエリート養成事業の開催について

金沢芽生会や金沢料理職人塾の料理人と連携し、食文化の将来を担う子供達を発掘・育成する養成事業を開始します。

第1回は、かつお、昆布、椎茸などの出汁素材やその引き方、素材を組み合わせた出汁の味の違いを学びます。

1. 日時 令和元年7月27日(土) 14:30~16:00
2. 場所 近江町交流プラザ3階 キッチンスタジオ
3. 内容 市長あいさつ後、プロの料理人による指導・実習
4. 参加者 20人(小学2年生から中学3年生まで、各学年1~3人)
5. 年間プログラム

	日時	会場	テーマ	講師
第1回	7月27日(土)	近江町交流プラザ	素材や引き方による出汁の違いを学ぶ	金沢芽生会
第2回	8月24日(土)	近江町交流プラザ	調理道具の使い方や職人の技を学ぶ	金沢料理職人塾
第3回	9月28日(土)	近江町交流プラザ	プロが教える家庭料理に挑戦する	金沢料理職人塾
第4回	10月19日(土)	料亭 つば甚	金沢の食文化を五感で感じる	金沢芽生会
第5回	11月17日(日)	近江町交流プラザ	出汁と旬の食材を使った和食を創る	金沢芽生会 金沢料理職人塾
自由参加	8月7日(水)	A_RESTAURANT	全日本高校生 WASHOKU グランプリで和食の見識を深める	
	10月12~14日(土・日・月祝)	しいのき迎賓館	食文化フェスタのワークショップで和食の魅力を発信する	
任意参加	来年3月	(未定)	金沢の食文化推進委員会で成果を発表する	

## 6. 応募に寄せたコメント(抜粋)

(和食に興味を持った理由)

- ・祖母が作るご飯がおいしくて、何より好きになったから
- ・かつお節と昆布で初めて取った出汁がとても美味しかったから
- ・夏休みの自由研究で、加賀野菜を調べたり料理を作ったりして、和食に興味を持ったから
- ・和食は日本の文化であり、その文化を引き継ぎたいと思ったから

(和食に対する思い)

- ・和食は見た目と味で2回楽しめ、カロリーが少なくヘルシーなところが良い
- ・魚料理が好きだが、味付けに悩んでいる

(得意な和食)

- ・卵焼き、だし巻き卵、味噌汁、えびす、刺身、すし、親子丼 など




金沢の食文化を学び、  
海山の幸を使った和食に挑戦してみよう


# ゆめは 和食料理人

えがお  
つくる

和食のジュニアエリート養成事業

参加者募集中

 **募集人数** 20名(小学生10名、中学生10名)、応募多数の場合は抽選させていただきます

 **募集対象** 市内在住または市内学校に通う小学校2年生～中学校3年生の子供  
和食への関心や意欲が高く、すべての研修に参加できる子供

## 開催内容

7月～11月(全5回)

出汁をテーマに、プロの  
和食料理人の心と技を学ぶ

8月・10月

全日本高校生WASHOKUグランプリ  
や食文化フェスタに合同参加

来年3月

金沢の食文化推進委員会  
にて成果報告

 **応募方法** チラシ裏面に記載のとおり

金沢市



五感に  
ごちそう  
かなざわ



# 和食のジュニアエリート養成事業 応募シート

専用応募フォームから応募またはメール・ファクス・郵送でお申し込みください。

おうぼしゃ じゅうしょ  
応募者の住所

おうぼしゃ しめい  
応募者の氏名(ふりがな)

がっこうめい がくねん  
学校名・学年

がっこう  
学校

ねんせい  
年生

ほごしゃ しめい  
保護者の氏名(ふりがな)

じたく でんわばんごう (保護者の携帯電話番号も可)  
自宅の電話番号

ほごしゃ  
保護者のメールアドレス

(以下は保護者の方が聞き取りのうえ代筆しても構いません)

わしょく たい おも わしょく きょうみ も りゆう か  
和食に対する思い、和食に興味を持った理由などを書いてください

とくい わしょく りょうり か  
得意な和食料理を書いてください

にちじょうせいかつ なか わしょく かん と く か  
日常生活の中で和食に関して取り組んでいることを書いてください

**【提出期限】令和元年6月25日(火)必着** ※7月初旬に保護者メールアドレスあて通知いたします。

**【応募先】**〒920-8577 金沢市広坂1-1-1 金沢市産業政策課 和食のジュニアエリート養成事業担当

E-mail:sansei@city.kanazawa.lg.jp 電話:076-220-2204 ファクス:076-260-7191

**【その他】**個人情報につきましては、当該事業以外の目的では利用いたしません。

応募専用フォーム



## 市長定例記者会見資料

# 非常時行動防災シートについて

正しい避難行動を理解することの重要性を市民に啓発するため、「非常時行動防災シート」を作成し、市内の全戸に配布しました。

### 1 作成の経緯

平成30年7月豪雨を教訓に住民に対して早期避難を促すため、内閣府が昨年8月、中央防災会議・防災対策実行会議の下にワーキンググループを設置し、平成31年3月に「**避難勧告等に関するガイドライン**」の改定を実施しました。この改定により、防災情報について、情報の意味がより直感的に分かりやすいものへと変更されることになりました。

本市においても、昨年9月の台風第21号到来時の市内全拠点避難所開設等を教訓に、正しい避難行動を理解することの重要性を市民に啓発するため、「非常時行動防災シート」を作成し、配布したものです。

### 2 体裁

A4版 両面カラー

### 3 内容

**表面** 災害時に発令される避難情報と、市民がとるべき行動について

**裏面** 避難情報や防災気象情報の入手方法について

自分の避難場所記入欄 等

### 【参考】避難勧告等に関するガイドライン改定概要

- ・ 防災情報を5段階の警戒レベルにより提供することなどを通して、受け手側が情報の意味を直感的に切迫度を理解しやすいものとし、住民の主体的な避難行動を支援。
- ・ 避難勧告等の発令に資する情報を、気象庁、河川管理者等が連携し、市町村に提供することで市町村の発令判断を支援。



# 命を守る正しい避難行動!

## 発令される「避難情報」

警戒レベル	行動を促す情報 ⇒ 市民がとるべき行動
	<b>災害発生情報<sup>※1</sup> ⇒ 命を守る最善の行動を!</b>
	<b>避難指示(緊急)<sup>※2</sup> ⇒ 緊急に避難</b> <b>避難勧告 ⇒ 全員避難</b>
	<b>避難準備・高齢者等避難開始 ⇒ 高齢者、障害のある方等は避難(他の市民の方は準備)</b>
	<b>注意報<sup>※3</sup> ⇒ 避難行動を確認</b>
	<b>早期注意情報<sup>※3</sup> ⇒ 心構えを高める(警報級の可能性)</b>

- 警戒レベルは、洪水、土砂災害、高潮、内水氾濫の場合に伝達します。(津波は対象外)
- 災害が発生するおそれが極めて高い状況等で、避難場所への避難がかえって危険となる場合には、近隣の安全な場所へ避難するか建物内のより安全な部屋へ移動してください。
- 上記の避難情報によることなく身の危険を感じたら、迷わず自発的に避難してください。

※1 災害が発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令します。

※2 緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令します。必ず発令するものではありません。

※3 気象庁が発表します。

# 避難情報・防災気象情報を入手する

## テレビ(データ放送)

ニュースなどで最新情報を入手しましょう。データ放送では、災害情報や避難情報が配信されます。



## 同報防災無線

市内の屋外スピーカーから避難情報等を発信します。



▼聞き取れなかったときは▼

電話案内サービス(自動音声)

☎0180-99-7171

## 金沢ぼうさいドットコム

気象警報、避難情報などを登録者へメールでお知らせします。

▼登録はこちら▼



## 金沢市ホームページ

避難情報、避難所の開設場所などをお知らせします。



## スマホで情報入手



▼河川の水位▼



石川県河川総合情報システム

▼気象情報▼



金沢地方気象台

▼土砂災害情報▼



石川県土砂災害情報システム

## 緊急速報メール

緊急時、避難情報や災害情報などを対応している携帯電話に配信します。

(登録不要、市内エリア限定)



E-mail

# 事前に準備しましょう

我が家の避難場所(避難所) 例:〇〇小学校など



記入しましょう

我が家の集合場所 各町会指定の集合場所など



記入しましょう

避難ルートを  
確認しよう

ハザードマップを  
確認しよう

日頃から3日分の  
食糧を備蓄し、  
避難所へ持って  
いこう





## 市長定例記者会見資料

## 子どもの貧困に関する市民説明会

## ～子どもの育ちと生活を支えるために～ の開催について

## 1. 目的

2月に策定した「金沢市子どもの貧困対策基本計画」を広く市民に周知し、子どもの貧困に関する理解を促進するとともに、こども総合相談センター所管の相談業務や子育て支援サービス等の紹介を行い、本市の子育て支援施策について市民への周知をはかる。

## 2. 開催日時・会場

- 7月23日（火）19:00～ 教育プラザ富樫
- 7月25日（木）19:00～ 松ヶ枝福祉館 ※手話通訳あり
- 7月27日（土）10:00～ 泉野図書館 ※託児対応あり（要予約）
- 7月28日（日）10:00～ 市保健所 ※託児対応あり（要予約）
- 7月30日（火）19:00～ 元町福祉健康センター
- 8月2日（金）19:00～ 異業種研修会館
- 8月6日（火）19:00～ 小立野公民館
- 8月9日（金）19:00～ ものづくり会館

## 3. 内容

- ・子育て支援課担当より、金沢市子どもの貧困対策基本計画について、また貧困対策関連の事業や取り組み、子育て支援サービス等について説明
- ・こども総合相談センター担当より、相談業務や子育て支援サービスについて説明。

## 4. その他

- ・参加への事前申し込みは不要。託児利用については事前予約が必要。

# 子どもの貧困に関する 市民説明会

～子どもの育ちと生活を支えるために～

金沢市では、子どもの貧困対策に総合的に取り組み、支援することを目的に、平成31年2月に「金沢市子どもの貧困対策基本計画」を策定しました。

市民のみなさんに計画について説明し、「子どもの貧困」について理解をしていただくとともに、子どもの育ちと生活を支える施策やサービス等を知っていただくため、市民説明会を開催します。

**(説明会の日程・会場は、裏面をご覧ください)**





○ 開催日時・会場

(参加申し込み不要)

日時(終了時刻は予定)	会場
令和元年7月23日(火) 19:00~20:25	教育プラザ富樫 131研修室 (富樫3丁目10番1号)
7月25日(木) 19:00~20:25	松ヶ枝福祉館 4階集会室 (高岡町7番25号) ※手話通訳あり(申し込み不要)
7月27日(土) 10:00~11:25	泉野図書館 オアシスホール(泉野町4丁目22番22号) ※託児あり(要予約)
7月28日(日) 10:00~11:25	金沢市保健所 3階駅西健康ホールすこやか ※託児あり(要予約)(西念3丁目4番25号)
7月30日(火) 19:00~20:25	元町福祉健康センター 2階もとまちホール (元町1丁目12番12号)
8月2日(金) 19:00~20:25	異業種研修会館 第2研修室(打木町東1400番地)
8月6日(火) 19:00~20:25	小立野公民館 3階ホール (小立野4丁目7番51号)
8月9日(金) 19:00~20:25	ものづくり会館 第1研修室(粟崎町4丁目80番地1)

※7月25日(木) 松ヶ枝福祉館の説明会では、手話通訳があります。(申し込み不要)

※7月27日(土) 泉野図書館、7月28日(日) 金沢市保健所の説明会では、無料の託児サービスがあります。開催日の10日前までに、下記問い合わせ先までお申し込みください。

○ 内容

- ・「金沢市子どもの貧困対策基本計画」の説明
- ・金沢市児童家庭相談室(子育て支援課)、こども総合相談センターにおける相談や子育て支援について など

○ お問い合わせ

【金沢市役所 子育て支援課】

電話：076-220-2285 FAX：076-220-2360

E-mail：kosodate@city.kanazawa.lg.jp



## 市長定例記者会見資料

### 簡易宿所等のあり方検討庁内プロジェクトの結成について

簡易宿所の開設数の増加に伴い、管理者不在による騒音やごみ出しのトラブル等を懸念する周辺住民からの声が高まっており、さきの金沢市町会連合会との市政連絡会においても問題提起がなされたところである。

一方で、簡易宿所や民泊は、観光振興や空き地・空き家の利用促進に寄与している面もある。

これらのことを踏まえ、本市の今後の対応を検討するため、関係課による庁内プロジェクトチームを結成する。

#### 【プロジェクトの進め方】

##### 1. 庁内プロジェクトの構成

衛生指導課、都市計画課、観光政策課、歴史都市推進課 等

##### 2. 有識者及び事業者との意見交換会の開催

※ 必要な場合には、金沢市旅館業法施行条例等を改正